

項目	内容
名称	マカダミアナッツ [英]Macadamia Nut [学名]Macadamia integrifolia; Macadamia tetraphylla
概要	マカダミアナッツは、オーストラリア原産のヤマモガシ科の常緑小高木Macadamia integrifolia、Macadamia tetraphyllaの堅果。生、炒った状態で食されるほか、製菓材料として用いられる。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・一価不飽和脂肪酸の割合が高く、オレイン酸 (57.4%) が豊富である (76)。
分析法	-
有効性	
ヒトの循環器・呼吸器での	<p>■ メタ分析</p> <p>・ 2013年3月までを対象に、1つのデータベースで検索できた介入研究4報について検討したメタ分析において、マカダミアナッツの摂取は、血中脂質 (TC (4報)、LDL-C (4報)) の低下と関連が認められた。一方、血中脂質 (TG (3報)) との関連は</p>

評価	認められず、血中脂質 (HDL-C (4報)) の低下と関連がみられた。また、無作為化比較試験2報について検討した場合、いずれも関連は認められなかった <a href="#">(PMID:26561616)</a> 。 <b>RCT</b> ・ コレステロール値が高めの男女25名 (平均50.2±8.4歳、アメリカ) を対象としたクロスオーバー無作為化比較試験において、マカダミアナッツ42.5 g/日を含む食事を5週間摂取させたところ、血中脂質 (TC、LDL-C) の低下が認められた。一方、血中脂質 (TG) に影響は認められず、血中脂質 (HDL-C) の低下が認められた <a href="#">(PMID:18356332)</a> 。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (76) 日本食品大事典 医歯薬出版株式会社  (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (2016123081) 日本小児アレルギー学会誌. 2015;29(5):685-90. <a href="#">(PMID:26561616) Am J Clin Nutr. 2015 Dec;102(6):1347-56.</a> <a href="#">(PMID:18356332) J Nutr. 2008 Apr;138(4):761-7.</a> <a href="#">(PMID:10518838) J Allergy Clin Immunol. 1999 Oct;104(4 Pt 1):889-90.</a> <a href="#">(PMID:11101181) Ann Allergy Asthma Immunol. 2000 Nov;85(5):385-6.</a> <a href="#">(PMID:15575948) Allergy. 2005 Jan;60(1):130-1.</a> <a href="#">(PMID:17671413) Arerugi. 2007 Jul;56(7):699-702.</a> <a href="#">(PMID:17982294) Arerugi. 2007 Oct;56(10):1306.</a> <a href="#">(PMID:18331311) J Eur Acad Dermatol Venereol. 2008 Nov;22(11):1394-5.</a> <a href="#">(PMID:20337625) Allergy. 2010 Oct;65(10):1345.</a> <a href="#">(PMID:20491364) Acta Clin Belg. 2010 Mar-Apr;65(2):129-32.</a>